隔週金曜掲載

和歌山を創る新聞 わかつく

Vol.338
2024.5.31

認定特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223　FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp　URL http://www.wnc.jp/
編集　志場 久起

和歌山を創る新聞「わかつく」バックナンバー
https://wnc.jp/works/wakatsuku
和歌山を創る新聞「わかつく」バックナンバー PDF 版を掲載中。スマートフォンからもご覧いただけます。

県内市町村 最新の推計人口をみる

4 月 12 日、国立社会保障・人口問題研究所が、「2033 年には国内の 1 世帯当たりの平均人数が 2 人を下回る」という推計を発表し、大きな反響をよびました。1 人暮らしの高齢者も今後ますます増加するとみられています。都道府県ごとの世帯人口の推計は今年度半ばの発表予定となっていますが、その前に県内市町村の全体の推計人口をおさらいします。

人口減少の度合いに変化が？

「和歌山を創る新聞・わかつく」では、今後の和歌山県の地域のあり方を考えるきっかけのひとつとして、人口問題について時折ご紹介しています。

最新の推計人口については２０２０年国勢調査結果などをもとに、昨年12月に国立社会保障・人口問題研究所が発表しており、和歌山都市圏の自治体の推計人口についてはわかつく３３４号で取り上げていますが、今回は県内全市町村の推計人口の推移をご紹介します。

和歌山県全体と、県内市町村の２０４５年まで５年ごとの推計人口を、過去３回の人口予測ごとに右表に掲載しています。

例えば和歌山県全体では、２０３０年の人口は、２０１３年予測では81・97万人だったものが２０１８年予測では82・91万人と約１万人増加したものの、２０２３年予測では82・72万人と微減していることがわかります。

わかつく３３４号でもご紹介していますが、推計人口は地域ごと・世代ごとに仮定された「生残率」や直近15年間の人口動態などのデータを元に算出されます。５年ごとの予測もその時々の状況により変化しうることになります。

人口ビジョンの成果はまだ見えぬ

２０１４年に「消滅可能性都市」の考え方が発表され、２０１５年頃から「地方創生」や「人口ビジョン」など、地域活性化につながる施策が全国的に展開されました。とはいえ最新の推計も、地方創生や人口ビジョンなどの施策が始まって５～６年しか経過していない２０２０年の国勢調査結果をベースに算出されていますので、現時点で人口ビジョンの効果を測るのは難しいといえるでしょう。

一方、例えば紀美野町は18年予測よりも23年予測の方が総じて数%、推計人口が多くなっており、当初予測よりも人口減少幅が縮小する傾向にあることがうかがえます。このほかにも18年予測で厳しい推計が出た自治体では20年の人口も、23年予測も、それほど減っていない傾向が複数みられ、早期に人口減少対策を打った成果、もしくは厳しい予測の「揺り戻し」がみられた可能性が考えられます。

「現状維持」は可能か

ほとんどの自治体で人口が減少している和歌山県内で今なお人口が増加傾向にあるのは岩出市、日高町、上富田町の３自治体。この３自治体の今後はどうなるのかみてみます。

まず岩出市ですが、２０２０年国勢調査確定人口が18年予測を下回り、それ以降一貫して18年予測を下回る人口の予測が発表されています。人口自体は２０５０年に約４・５万人と一定の水準を維持できそうですが、高齢化率も急激に上がるとみられています。一方で、年少人口割合が今後急速に下がると予測されており、ちょうど今がまちづくりの転換点に差し掛かっているのではないかと考えられます。

日高町と上富田町については、人口自体は徐々に減少するもののその度合いは非常に緩やかです。23年予測の各年の人口は13年予測の約１割上回っています。また２０５０年の人口は２０２０年と比較して日高町が89・7%、上富田町は82・7%を確保。50年の高齢化率は日高町37・5%、上富田町41・2%と周囲の自治体よりも低く、現状に近い水準を維持できる傾向がみえます。

この３自治体以外では、和歌山市の50年の人口が20年比20%強の減少にとどまるのを除き、すべての市町村で30%以上の人口減少が予測されており、もっとも減少幅が大きい九度山町では61・4%の減少が予測されています。和歌山市、岩出市、日高町、上富田町以外の自治体では現状維持はほぼ不可能といってもいい人口推計となっています。

高齢人口自体もすでに減少局面へ

「少子高齢化」という言葉がこれまでよく使われていたこともあり、高齢者の人口が今後も増えるという考え方が今もみられます。従来は若年層の流出による「社会減」が大きいこと、少子化の進行が進んでいることで人口減少が進むケースが多くみられましたが、現在では、既に県内の多くの自治体で高齢人口自体の減少が始まっています。これは、ほとんどの自治体でもっとも人口が多い、１９４７年前後生まれのいわゆる「団塊の世代」が75歳以上に入り、「自然減」が増加する傾向が始まっていることが影響しています。

つまり、多くの自治体では社会減に自然減が加わり、人口減少がより進むと考えられることになります。

居住実態も変わる

全国的に1世帯あたりの世帯人員が減少する傾向が長年続いています。4月に発表された社人研推計では２０３３年に1世帯あたりの平均世帯人員が2人を下回るとされており、ひとり暮らし世帯の総数は２０３６年にもっとも多くなるとみられています。

世帯主が65歳以上の世帯に占めるひとり暮らし世帯の割合も年々増加し、２０５０年には約45%と、現在より約10ポイント増加する予測です。また、ひとり暮らし世帯全体の約47%が65歳以上のひとり暮らし世帯となるとみられています。

今後もひとり暮らし高齢者世帯の割合が増えるとみられることから、地域を構成する世帯の構造もどんどん変わっていくことが予想されます。なかには認知症をはじめとした病気を抱えたり、介護保険などによる支援を受けながらなど、困難な状態での一人暮らしを余儀なくされる方が増加する可能性もあります。そもそも現在よりも総人口が大きく減少するなかで、どのようにして地域の見守り活動をおこなうのか、また地域づくりへどのように参画してもらうのか、従来とは全く異なるアプローチが求められそうです。

加えて現在、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などは、賃貸住宅への入居が難しいといわれています。国では「居住支援法人」制度を設け、賃貸住宅への入居が難しいといわれる方の支援を進めていますが、和歌山県内では今年４月現在、同制度の指定を受けている団体は11法人にとどまっています。

今後ひとり暮らしで親族もいない高齢者の増加が見込まれることから、こうした方に住まいをどう供給していくのかも大きな課題になりそうです。

◆　◆　◆

これらの推計は今後の人口動態により変動しうるものではありますが、現に人口が大幅に減少する局面に入っていることはもはや抗いようがない事実でもあります。

今後のまちのあり方を想像しながら、いまできることに少しずつ取り組んでいくこと。そこには行政、企業、市民の三者の連携が欠かせないと考えます。

（志場久起）

和歌山県内全市町村の 5 年ごと推計人口の推移

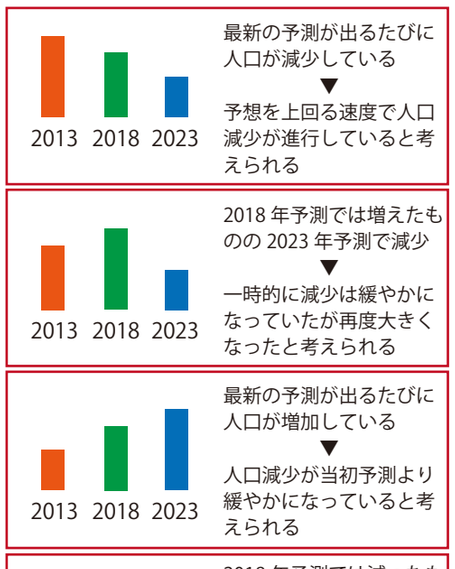
2013 年 3 月、2018 年 3 月、2023 年 12 月に国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が発表した各市町村の推計人口の推移。「2023 年予測」欄の「2020 年」については 2020 年 10 月国勢調査による確定人口を記載（太字で表記）しています。

なお 2013 年の人口推計は 2040 年まで、2018 年の人口推計は 2045 年まで、2023 年の人口推計は 2050 年まで 5 年刻みで出されています。

この表では人口推計同士を比較できるよう 2045 年までの表記としています。

		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
和歌山県	2013年予測	917,238	869,182	819,680	769,428	719,427	
	2018年予測	921,152	875,553	829,087	781,816	734,325	688,031
	2023年予測	**922,584**	875,458	827,214	777,790	728,026	679,003
和歌山市	2013年予測	347,197	331,996	315,530	298,384	281,192	
	2018年予測	355,564	344,850	333,188	320,952	308,663	296,577
	2023年予測	**356,729**	346,249	333,854	320,645	307,046	293,466
海南市	2013年予測	48,306	44,967	41,661	38,391	35,232	
	2018年予測	48,765	45,571	42,385	39,178	36,057	33,116
	2023年予測	**48,369**	44,535	41,022	37,530	34,160	31,001
橋本市	2013年予測	61,210	58,205	54,982	51,566	47,992	
	2018年予測	60,483	57,068	53,457	49,624	45,617	41,620
	2023年予測	**60,818**	57,104	53,387	49,480	45,468	41,452
有田市	2013年予測	27,268	25,519	23,759	21,988	20,232	
	2018年予測	26,320	24,131	21,970	19,854	17,794	15,855
	2023年予測	**26,538**	24,520	22,437	20,373	18,356	16,425
御坊市	2013年予測	23,889	22,716	21,551	20,376	19,202	
	2018年予測	23,311	21,813	20,474	19,157	17,856	16,625
	2023年予測	**23,481**	21,885	20,516	19,097	17,707	16,341
田辺市	2013年予測	71,810	67,863	63,855	59,846	55,893	
	2018年予測	70,455	66,008	61,554	57,137	52,767	48,493
	2023年予測	**69,870**	64,651	59,951	55,365	50,906	46,553
新宮市	2013年予測	27,391	25,376	23,393	21,472	19,633	
	2018年予測	27,150	24,960	22,785	20,643	18,562	16,580
	2023年予測	**27,171**	25,150	23,065	21,041	19,074	17,195
紀の川市	2013年予測	60,410	57,358	54,186	50,908	47,549	
	2018年予測	59,167	55,592	51,953	48,188	44,328	40,505
	2023年予測	**58,816**	55,450	51,839	48,070	44,216	40,360
岩出市	2013年予測	53,637	53,164	52,375	51,283	49,932	
	2018年予測	54,072	53,971	53,471	52,670	51,535	50,143
	2023年予測	**53,967**	53,445	52,603	51,349	49,648	47,643
紀美野町	2013年予測	8,356	7,435	6,593	5,801	5,057	
	2018年予測	8,092	7,059	6,127	5,248	4,408	3,654
	2023年予測	**8,256**	7,270	6,355	5,510	4,723	4,002
かつらぎ町	2013年予測	15,547	14,246	12,992	11,787	10,642	
	2018年予測	15,670	14,355	13,102	11,873	10,669	9,554
	2023年予測	**15,967**	14,670	13,331	12,029	10,776	9,609
九度山町	2013年予測	4,051	3,645	3,256	2,890	2,553	
	2018年予測	3,788	3,253	2,767	2,315	1,917	1,570
	2023年予測	**3,856**	3,373	2,922	2,506	2,128	1,783
高野町	2013年予測	3,161	2,812	2,505	2,218	1,965	
	2018年予測	2,858	2,440	2,082	1,750	1,455	1,206
	2023年予測	**2,970**	2,654	2,362	2,085	1,844	1,636
湯浅町	2013年予測	11,110	10,149	9,197	8,268	7,382	
	2018年予測	11,136	10,116	9,128	8,175	7,235	6,372
	2023年予測	**11,122**	10,010	8,973	7,949	6,972	6,070
広川町	2013年予測	7,002	6,626	6,234	5,841	5,445	
	2018年予測	6,731	6,228	5,703	5,173	4,644	4,120
	2023年予測	**6,781**	6,321	5,839	5,357	4,876	4,389
有田川町	2013年予測	24,346	22,923	21,559	20,252	18,965	
	2018年予測	25,613	24,833	24,083	23,341	22,571	21,735
	2023年予測	**25,258**	23,976	22,715	21,441	20,174	18,913
美浜町	2013年予測	7,171	6,721	6,274	5,827	5,397	
	2018年予測	6,922	6,393	5,884	5,375	4,876	4,385
	2023年予測	**6,867**	6,408	5,956	5,477	4,994	4,515
日高町	2013年予測	7,205	7,011	6,808	6,590	6,370	
	2018年予測	7,666	7,645	7,592	7,504	7,365	7,198
	2023年予測	**7,673**	7,605	7,515	7,408	7,260	7,091
由良町	2013年予測	5,394	4,890	4,406	3,938	3,494	
	2018年予測	5,152	4,535	3,959	3,422	2,917	2,459
	2023年予測	**5,364**	4,816	4,323	3,860	3,399	2,972
印南町	2013年予測	7,520	6,982	6,462	5,959	5,472	
	2018年予測	7,510	6,956	6,411	5,872	5,330	4,831
	2023年予測	**7,720**	7,195	6,699	6,206	5,714	5,239
みなべ町	2013年予測	12,075	11,382	10,722	10,072	9,417	
	2018年予測	11,887	11,041	10,268	9,514	8,731	7,949
	2023年予測	**11,818**	10,963	10,161	9,372	8,571	7,796
日高川町	2013年予測	9,170	8,541	7,960	7,412	6,880	
	2018年予測	9,001	8,266	7,578	6,907	6,238	5,588
	2023年予測	**9,219**	8,463	7,824	7,196	6,591	5,990
白浜町	2013年予測	20,371	19,108	17,860	16,634	15,438	
	2018年予測	20,388	19,198	17,973	16,716	15,436	14,183
	2023年予測	**20,262**	19,048	17,827	16,587	15,319	14,034
上富田町	2013年予測	14,348	13,978	13,548	13,069	12,547	
	2018年予測	14,871	14,649	14,310	13,906	13,381	12,794
	2023年予測	**15,236**	15,238	14,869	14,403	13,862	13,254
すさみ町	2013年予測	3,801	3,383	3,001	2,654	2,361	
	2018年予測	3,618	3,146	2,729	2,351	2,006	1,689
	2023年予測	**3,685**	3,248	2,863	2,510	2,183	1,886
那智勝浦町	2013年予測	14,659	13,402	12,177	11,005	9,910	
	2018年予測	14,247	12,832	11,487	10,182	8,958	7,839
	2023年予測	**14,137**	12,724	11,409	10,145	8,964	7,883
太地町	2013年予測	2,710	2,447	2,204	1,981	1,769	
	2018年予測	2,826	2,599	2,375	2,173	1,974	1,786
	2023年予測	**2,791**	2,610	2,417	2,216	2,012	1,797
古座川町	2013年予測	2,483	2,207	1,956	1,742	1,542	
	2018年予測	2,528	2,246	1,988	1,743	1,511	1,297
	2023年予測	**2,480**	2,186	1,926	1,689	1,475	1,280
北山村	2013年予測	394	353	318	287	263	
	2018年予測	390	340	298	265	237	212
	2023年予測	**404**	346	300	260	226	204
串本町	2013年予測	15,246	13,777	12,356	10,987	9,701	
	2018年予測	14,971	13,459	12,006	10,608	9,287	8,096
	2023年予測	**14,959**	13,345	11,954	10,634	9,382	8,224

3 つの予測の違いの捉え方（例）

2013 年、2018 年、2023 年の 3 種類の予測が並んでいますが、同じ年の推計人口の違いには、以下のような傾向があると考えられます。

※以下の考え方は一例です